

男鹿市条例第 17 号

男鹿市水道事業給水条例及び男鹿市水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例

(男鹿市水道事業給水条例の一部改正)

第 1 条 男鹿市水道事業給水条例（平成 17 年男鹿市条例第 188 号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(定義)</p> <p>第 3 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 給水装置工事 給水装置の新設、改造、修繕（水道法（昭和32年法律第177号。以下「法」という。）第16条の 2 第 3 項の<u>国土交通省令</u>で定める給水装置の軽微な変更を除く。）又は撤去のための工事をいう。</p> <p>(3)～(5) (略)</p> <p>(給水装置の基準違反に対する措置)</p> <p>第36条 (略)</p> <p>2 管理者は、水の供給を受ける者の給水装置が指定給水装置工事事業者の施工した給水装置工事に係るものでないときは、その者の給水契約の申込みを拒み、又はその者に対する給水を停止することができる。ただし、法第16条の 2 第 3 項の<u>国土交通省令</u>で定める給水装置の軽微な変更であるとき、又は当該給水装置の構造及び材質がその基準に適合しているときはこの限りでない。</p>	<p>(定義)</p> <p>第 3 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 給水装置工事 給水装置の新設、改造、修繕（水道法（昭和32年法律第177号。以下「法」という。）第16条の 2 第 3 項の<u>厚生労働省令</u>で定める給水装置の軽微な変更を除く。）又は撤去のための工事をいう。</p> <p>(3)～(5) (略)</p> <p>(給水装置の基準違反に対する措置)</p> <p>第36条 (略)</p> <p>2 管理者は、水の供給を受ける者の給水装置が指定給水装置工事事業者の施工した給水装置工事に係るものでないときは、その者の給水契約の申込みを拒み、又はその者に対する給水を停止することができる。ただし、法第16条の 2 第 3 項の<u>厚生労働省令</u>で定める給水装置の軽微な変更であるとき、又は当該給水装置の構造及び材質がその基準に適合しているときはこの限りでない。</p>
備考 改正箇所は、下線が引かれた部分である。	

(男鹿市水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正)

第2条 男鹿市水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例（平成24年男鹿市条例第36号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>（水道技術管理者の資格）</p> <p>第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める水道技術管理者が有すべき資格は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1)～(5) （略）</p> <p>(6) <u>国土交通大臣及び環境大臣</u>の登録を受けた者が行う水道の管理に関する講習の課程を修了した者</p>	<p>（水道技術管理者の資格）</p> <p>第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める水道技術管理者が有すべき資格は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1)～(5) （略）</p> <p>(6) <u>厚生労働大臣</u>の登録を受けた者が行う水道の管理に関する講習の課程を修了した者</p>
備考 改正箇所は、下線が引かれた部分である。	

附 則

この条例は、令和6年4月1日から施行する。